

令和6年度 第2回市長タウンミーティング概要

と き：令和6年4月13日（土）
午後2時～3時30分
ところ：西公民館
参加者：104人

○市長あいさつ

（市長より、令和6年度の施策・予算についての説明が行われました。）

○意見交換

質問(市民)

錦町の東京すずらんから富士見公園内野球場の歩道の段差について、高齢者や車いすの人もいるので、改修をお願いしたいです。

また、公民館のWi-Fi利用について、1階だけではなく、2階・3階などでも使えるようにしてほしいです。

回答(市長)

歩道の該当箇所については、担当職員に現地確認をさせ、解消できないか検討していきます。

公民館のWi-Fiについては、昨年度実証実験を行いました。今年度からは全公民館にルーターを用意し、1階のロビーなどで使えるようにするほか、講座などで他の場所で使いたい際には貸し出しも可能ですので、公民館職員にお声がけいただければと思います。なお、西公民館のWi-Fi設置については、現在準備中です。

（道路公園課より 現地を確認しました。当該歩道は下部を流れる水路の蓋を路面としており、段差の大きいところから順次部分的な補修を進めてきていますが、今後も継続して対応していきます。）

質問(市民)

コロナ禍での対応に加え、新庁舎竣工、西口の再開発など必要な投資をしていますが、「選ばれるまち蔵」に向け、近隣市の成功例を参考

に、学校の建替えなど挑戦的な施策を進めてみてはいかがでしょうか。例えば、戸田市の芦原小学校はモダンな作りに建替えをして、周りにマンションも増え、人口増にもつながっていると思います。錦町にある西小学校・第二中学校は築年数も多くなっているので、補修するだけでなくそのような検討もお願いします。

回答(市長)

「選ばれるまち蕨」に向け、これまで教育の充実について力を入れており、35人学級の実施など一人ひとりに行き届く教育や、土曜塾、英語教育のGTECの導入などに取り組み、蕨の子どもたちは学力や体力テストで高い成果を残しています。その上で、環境整備ももちろんたいせつです。これまで全校の耐震化や、教室や体育館のエアコン整備などに取り組んできましたが、今後4年間ですべてのトイレを改修する予定です。また、第二中学校の外壁については、今年度に屋上の防水と合わせて改修予定です。ご質問の通り、建替えができればよいのですが、1校の建替えで30～40億円かかりますし、どこかの学校だけというわけにはいきません。今年度も高校卒業までのこども医療費無料化や、2人目以降の学校給食費の無償化など、子育て・教育の充実を図っていますが、限られた財源をどのように使っていくのか、総合的に考えていく必要があると思っています。

質問(市民)

10年ほど前から要望していますが、障害者の入所施設を作ってほしいです。財政面でたいへんだとは思いますが、障害者や障害を持つ子どもが蕨に住み続けられるように検討をお願いします。

回答(市長)

国は入所施設を減らし、家庭やグループホームで対応していくのが望ましいという方針なので、なかなか補助金を認めないという傾向にあります。しかし、現実的には知的障害があっても行動障害のあるかたは、グループホームでの対応は難しいと思いますし、入所施設の必要性については承知しています。ただ、蕨市で整備が進まない背景としては、財政面の問題だけでなく環境面の問題があります。社会福祉法人と協議をしていますが、施設整備には、広く静かで周りのかたの理解が得られる場所であることが重要ですが、全城市街化地域の蕨市は難しい状況にあります。今後もどのような条件なら可能なか協議を継続するとともに、近隣の戸田市とも連携を図り検討を重ねるなど、引き続き努力してまいりますので、ご理解をいただければと思います。

質問(市民)

わらびりんご公園の草が生えるのがすごく早いです。特に遊具や健康器具の部分など、長くなる前に早めの対処をお願いします。

また、私は蕨に住んで30年ほどになり納税をしていますが、広報紙や市議会だよりなどを見ている、納税者への感謝のメッセージがあまり伝わってきません。市長をはじめ、市の職員や市議会議員など、改めて肝に銘じて仕事をしていただければと思います。

回答(市長)

わらびりんご公園については、担当職員に現地確認させ、対応していきたいと思えます。

2つ目の意見に関しては、おっしゃる通りです。皆さんに納めていただいているたいせつな税金のおかげで、様々な取り組みができますし、財政の健全化にもつながっています。今後、色々な機会に改めてお礼を伝えていきたいと思えます。

質問(市民)

錦町地区は駅から遠い地区でもあるので、コミュニティバスについて、もう少し本数を増やしてほしいです。さらに、錦町方面の人は戸田駅を使う人も多いので、戸田市と連携して戸田駅方面にもバスで行き来できるようにしていただきたいです。

また、近年、温泉施設や銭湯が少なくなってきたので、同じような高齢者の健康につながるような施設を作してほしいです。

回答(市長)

バスの増便などご要望の趣旨はわかりますが、現実的には難しい状況にあります。令和2年に見直しをして、現行の4ルート運行がスタートし、西ルートは逆回りのルートができるなど充実をしております。ご要望の意見には多額の財源の確保やバス業界の運転手不足など、様々な課題があることから、当座は現在のルートで運行し、今後のルート改善時の参考とさせていただきます。

銭湯については、以前は市内に多くありましたが、今は亀の湯と朝日湯の2か所になっています。入浴施設は高齢者のコミュニティの場にもなるので大事なのは承知していますが、自治体で作るのは難しいのが実状です。健康施設という面では、民間のスポーツクラブなどがありますが、より身近でそういった土地活用ができるかと思えます。

質問(市民)

本日の説明でも「市民の皆さん」という表現がありますが、市民には、家を持っていて親の代からずっと住んでいる人、マンションに住んでいる人、外国の人などがいて、それぞれ市に要求することが違うと思います。住んでいる人の分析をして、それぞれに満足をしてもらう施策をしてもらえるとより良いまちになると思います。

回答(市長)

おっしゃる通り、まちには様々なかたが暮らしています。まずは共通するものについて充実していくとともに、子育て世帯や高齢者向けの施策など、それぞれのニーズに合わせて対応していきます。ご質問のマンションに関する施策で言えば、昨年「マンション管理適正化推進計画」を策定し、優良マンションへの認定制度などを作るなどしていますが、今後も住みよいまちに向けて、できるだけきめ細やかに対応をしていきたいと思っています。

質問(市民)

質問ではないのですが、ふらっとわらびに乗っていた際、蕨市には税金を払っても惜しくない、蕨っていいなという話をしているかたがいました。ぜひ知ってもらいたいと思い、報告しました。

回答(市長)

ありがとうございます。今後も皆さんにそう言っていただけるように市長として頑張りたいと思います。蕨のすばらしさは、市民の皆さんがまちづくりに協力していただいていることで、これは住みよいまちにとってとても大事です。これからも市民の皆さんとともに、住みよい蕨のまちづくりを進めていきます。

※ご質問いただきました内容に関して、担当課の確認など、その場でお答えできなかった内容を、加筆・修正して公開しています。